上半期ディスクロージャー

しまなみしんきん レポート

2026年4月～9月



庄原市　帝釈峡



福山市　鞆の浦

因島大橋



東広島市　西条酒蔵通り



三原市　三原城跡



尾道市　千光寺ロープウェイ

あなたの街のパートナーバンク

しまなみ信用金庫



私たち信用金庫は、地域社会の繁栄に奉仕するという使命を担っています。

金融仲介機能や本業支援を通じて、地元事業者の成長や、地域の未来づくりを支え、生まれ育ったこの街を元気にしていきたいと願っています。

地域の活力は、この街に暮らす人々と、地域を支える私たち自身の元気から生まれます。

ー 職員の元気が地域の元気につながり、地域の元気がまた職員のエネルギーとなる ー

そのような好循環をつくりながら、しまなみ信用金庫は、
これからも地域の未来づくりを全力で応援していきます。



（2026年9月30日現在）

預金残高	3,781 億円
貸出金残高	1,634 億円
貸出金先数（法人・個人合計）	13,046 先
事業先貸出先数	3,750 先
住宅ローン等個人貸出先数	9,284 先
地方公共団体向け貸出数	12 先
常勤役職員数	271 名
会員数	42,644 名
出資総額	30 億円



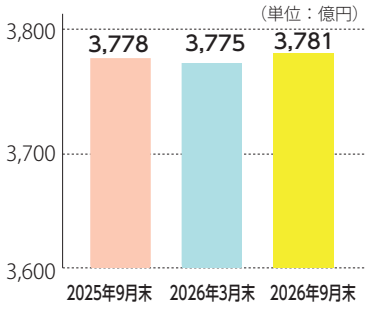
預金・貸出金の状況

●預金の状況

預金残高は、2026年3月末残高に対し、6億円増加し、3,781億円となりました。
科目別に見ると、普通預金等の流動性預金が2億円減少、定期預金等の定期性預金が8億円増加しました。
人格別に見ると、個人が12億円減少、法人が17億円増加しました。

(単位：億円)

項　　目	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
個人（個人事業主含む）	2,939	2,939	2,927
法　　人	839	836	853
預金合計	3,778	3,775	3,781

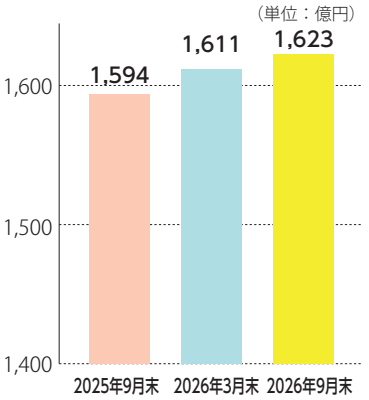


●貸出金の状況

貸出金残高は、2026年3月末残高に対し、12億円増加し、1,623億円となりました。
人格別に見ると、法人が13億円増加となりました。

(単位：億円)

項　　目	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
個人（個人事業主含まず）	386	385	385
法人・個人事業主	1,208	1,225	1,238
貸出金合計	1,594	1,611	1,623



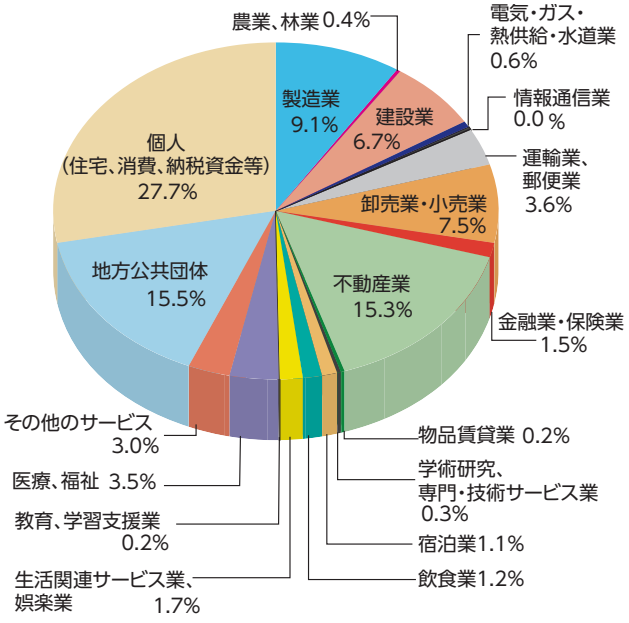
貸出金業種別先数・残高・構成比

(単位：先・億円)

業種区分	2026年9月末	
	先数	金額
製造業	485	149
農業、林業	40	6
漁業	－	－
建設業	679	110
電気・ガス・熱供給・水道業	26	10
情報通信業	11	1
運輸業、郵便業	130	59
卸売業、小売業	623	122
金融業、保険業	20	25
不動産業	537	251
物品賃貸業	13	4
学術研究、専門・技術サービス業	53	6
宿泊業	25	18
飲食業	285	20
生活関連サービス業、娯楽業	223	28
教育、学習支援業	17	3
医療、福祉	93	57
その他サービス	490	49
小　計	3,750	926
地方公共団体	12	253
個人（住宅、消費、納税資金等）	9,284	454
合　計	13,046	1,634

※個人には個人事業主は含まれておりません。

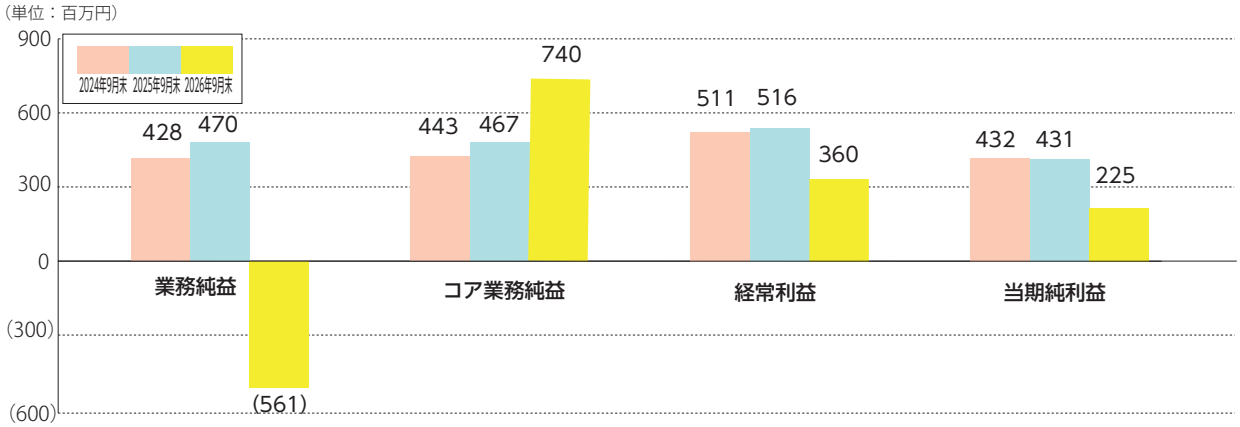
貸出業種別残高構成比



損益の状況（単体）

（単位：百万円）

項　　目	2024年9月末	2025年9月末	2026年9月末
業務純益	428	470	△561
コア業務純益	443	467	740
経常利益	511	516	360
当期純利益	432	431	225



「業務純益」……預金や貸出金、為替など信用金庫本来の事業活動からどれだけの収益をあげたかを知るための金融機関固有の収益指標です。
「コア業務純益」……「業務純益」から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除調整したもので、信用金庫の基礎的収益力を示す収益指標です。
「経常利益」……「業務純益」に、業務外の損益を加減した利益で金融機関の経常的な収益を示すものです。
「当期純利益」……「経常利益」に、特別利益・特別損失を加減し、法人税等を控除した利益で最終利益ともいいます。

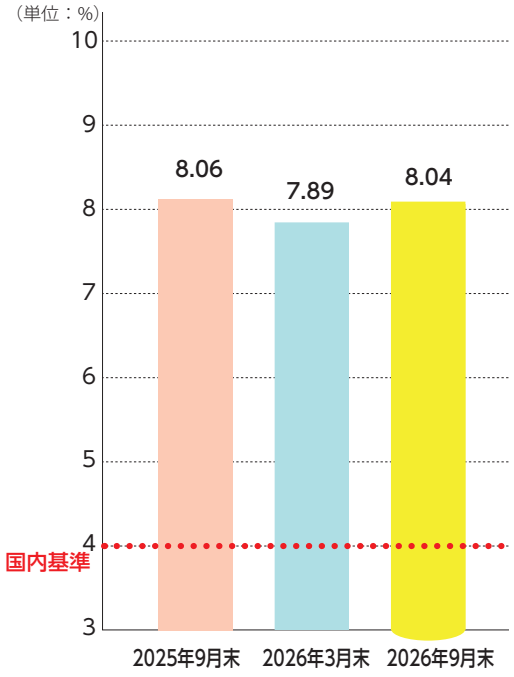
（※ 2026年9月末の業務純益は、今後の金利上昇に備え国債等の債券の売却損を計上したことからマイナスとなっております。）
（※信用金庫では、中間決算をおこなっていないため、2024年9月、2025年9月、2026年9月の計数は概算によるものです。）

単体自己資本比率（国内基準）

●自己資本比率の推移

（単位：百万円）

項　　目	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
①自己資本の額（②－③）	11,288	11,496	11,712
②コア資本に係る基礎項目の額	11,456	11,795	12,004
普通出資等に係る会員勘定の額	11,337	11,658	11,874
出資金及び資本剰余金の額	4,602	4,593	4,584
利益剰余金の額	6,735	7,088	7,299
外部流出予定額（△）	－	15	－
上記以外に該当するものの額	0	△8	△8
引当金の合計額	118	137	130
適格旧資本調達手段の額	－	－	－
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額	－	－	－
③コア資本に係る調整項目の額	168	298	291
④リスク・アセット等の額	139,905	145,687	145,620
信用リスク・アセットの額の合計額	133,430	138,782	138,715
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	6,475	6,904	6,904
自己資本比率	8.06%	7.89%	8.04%



・2025年8月に優先出資30億円の全額買入消却を実施しました。
・金融機関の健全性を示す「自己資本比率」は、8.06%と、健全とされる国内基準4%を大きく上回っています。

$$自己資本比率 = \frac{自己資本の額（コア資本に係る基礎項目の額 - コア資本に係る調整項目の額）}{信用リスク・アセットの額の合計額 + オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額}$$

有価証券の評価差額

●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	2026年3月末			2026年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	－	－	－	－	－	－
	地方債	－	－	－	－	－	－
	社債	－	－	－	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－	－
	小計	－	－	－	－	－	－
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	4,870	4,408	△462	4,872	4,275	△597
	地方債	8,600	7,825	△774	8,600	7,522	△1,077
	社債	5,143	4,899	△244	4,994	4,580	△414
	その他	16,500	12,014	△4,485	16,500	10,914	△5,585
	小計	35,114	29,147	△5,966	34,967	27,293	△7,674
合計		35,114	29,147	△5,966	34,967	27,293	△7,674

(注) 1．時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2．上記の「その他」は、外国証券です。

●その他有価証券

(単位：百万円)

	種類		2026年3月末			2026年9月末		
			貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式		156	16	140	34	7	27
	債券		－	－	－	－	－	－
		国債	－	－	－	－	－	－
		地方債	－	－	－	－	－	－
		社債	－	－	－	－	－	－
	その他		11,026	9,856	1,169	744	719	24
	小計		11,182	9,873	1,309	779	727	51
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式		－	－	－	－	－	－
	債券		21,497	26,706	△5,208	16,861	21,941	△5,079
		国債	8,923	11,050	△2,126	7,162	9,344	△2,182
		地方債	2,995	3,729	△733	1,035	1,097	△62
		社債	9,578	11,926	△2,347	8,663	11,498	△2,834
	その他		16,687	17,765	△1,077	15,594	16,945	△1,350
	小計		38,185	44,471	△6,286	32,456	38,886	△6,430
合計			49,367	54,344	△4,976	33,235	39,613	△6,378

(注) 1．貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2．上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3．時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

地域密着型金融の取り組み

当金庫では、個々のお客様の真のニーズや課題を把握し、課題解決のための本業支援等を組織的・継続的に実施しております。

また、安定した金融仲介機能を発揮できるよう、事業性評価やコンサルティング機能の強化に努め、地元の経済活性化に取り組むとともに、お客様のさまざまな課題の解決をサポートするため、ライフステージに応じたさまざまなソリューション提案に取り組んでいます。

創業期	創業支援	●創業計画策定支援 ●外部機関の活用 地元商工会議所、三原市起業化促進連携協議会、尾道地域中小企業支援センター、 ひろしま創業サポートセンター、日本政策金融公庫との連携 （コラボ商品　しまなみ信金創業ローン）
成長期・安定期	販路拡大支援	●他金庫主催ビジネスフェア等への出展 （おかやましんきんビジネス交流会、よい仕事おこしフェア（東京）） ●信金中央金庫による連携企画への参加 （ビジネスマッチングサイト　しんきんコネクト） ●外部機関の活用 (Fuku-Biz、Hi-Biz、日本フルハップ) ●県内４信金合同マルシェ実施
	事業承継支援	●事業承継計画策定支援（自社株評価等） ●外部機関の活用 広島しんきん事業承継ネットワーク 広島県事業承継・引継ぎ支援センター 信金キャピタル㈱、㈱日本M &A センター ㈱ DEPS
低迷期・再生期	事業再生・経営改善支援	●経営改善計画策定支援 ●外部機関の活用 広島県中小企業活性化協議会 ●事業再生ファンドの活用

金融再生法ベースでの開示債権

（単位：百万円、%）

	2026年３月末	2026年９月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,058	3,026
危険債権	6,438	6,276
要管理債権	－	－
不良債権計	9,497	9,302
正常債権	150,131	154,546
合　　計	159,628	163,849
不良債権比率	5.95%	5.67%

（注）上記の2026年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については簡易な方法で計上しています。

1. 2026年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年3月末時点における債務者区分（※）を前提とし、①同年3月末から9月末までに破綻、不渡り等の客観的な事実、②債務者区分のランクダウンがあった債務者について、当金庫の自己査定基準に基づき見直した金額を計上しております。
   ※ 債務者区分との関係　●破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）　●危険債権（破綻懸念先の債権）●要管理債権（要注意先のうち、元金または利払いが3ヶ月以上遅延しているか、貸出条件を緩和している債権）
2. 2026年9月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末基準における債務者区分を前提とし、「要管理債権」から「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」となった先を除き、①新たに3ヶ月以上遅延となった債権、②新たに貸出条件緩和債権となった債権を加算しております。
3. 2026年9月末の不良債権の合計額のうち個別貸倒引当金と担保等で保全されている比率（不良債権保全率）は、88.77%と高い水準にあります。

SHIMANAMI TOPIX

新入職員の入庫

2026 年 4 月に新入職員 21 名と社会人採用 2 名の計 23 名が、新たに私たちの仲間に加わりました。入庫後の研修では、社会人としての基本姿勢やチーム意識・親睦を深めるため、八天堂式研修「パンデコハウス」に参加しました。









SHIMANAMI TOPIX

お客様の本業支援

2026 年 7 月に福山ビジネスサポートセンター Fuku-Biz を招いた経営相談会を開催しました。



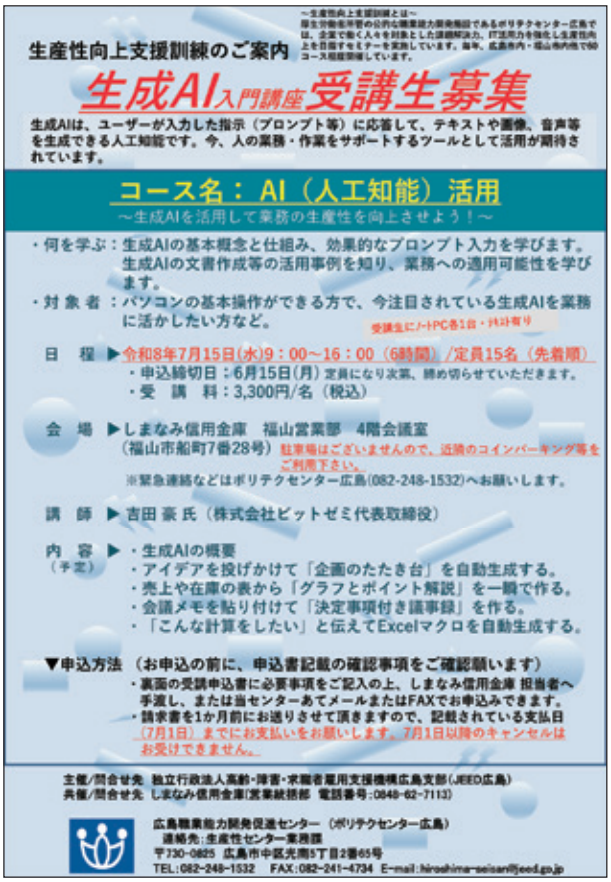
当金庫はこれまで 97 先の SDGs 宣言策定サポートに取り組みました。



2026 年度より、お取引先の悩みや課題を把握し課題解決をサポートする為、「お悩み点検チェックシート」を導入しました。



2026 年 7 月に取引先企業さまの生成 AI の基 礎知識習得、業務への応用を目的とした生成 AI 入門講座を開催しました。



SHIMANAMI TOPIX

地元文化の維持・参加

地域社会の一員として、地元の祭りやイベントに参加・協力しています。











地域貢献への取組み

信用金庫法が公布・施行された６月 15 日を「信用金庫の日」と定めて、店舗近隣の清掃活動・花の苗プレゼント・交通安全活動等を実施しています











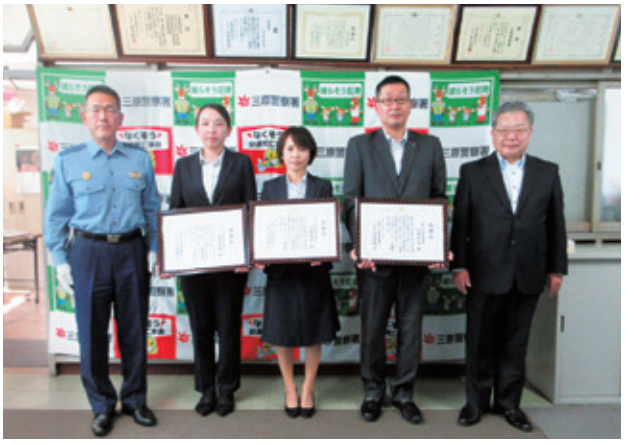
SHIMANAMI TOPIX

特殊詐欺被害の防止

詐欺被害を未然に防止し、広島県警から感謝状を授与されました。







環境保全への取組み

地元の環境保全・環境美化に取り組んでいます。
また、ペーパーレス会議の実施もしています。



中学生への金融勉強会

2026 年 5 月に地元中学校で金融勉強会を
実施し、金融機関の仕事等を説明しました。

